

市議会だより No.58 平成30年8月1日



きたあきた

6月定例会・第3回臨時会などの内容をお伝えします。

6月定例会の審議	P 2
議会全員協議会	P 3
常任委員会審査報告	P 4～5
一般質問	P 6～11
議員連盟総会	P 12
市議会へのご意見募集	P 13
世界から見た「きたあきた」	P 14

「輝く水の星」

第13回北秋田市美術展覧会
写真部門 特賞作品 安保 邦夫 さん

専決処分 大雨災害復旧費

3億9081万6千円

農林水産業施設災害復旧費 2億85万4千円

公共土木施設災害復旧費 1億8996万2千円

全会一致で承認

6月定例会の主な議事

- 専決処分の承認
- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 市税条例等の一部改正
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 病院事業使用料及び手数料徴収条例の一部改正
- 高齢者福祉事業運営委員会の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- 財産の取得（米内沢診療所のデジタルX線TVシステム）

**一般会計は7億979万9千円増の
総額234億7529万6千円に**

平成30年度一般会計補正予算(第1号 専決処分) 3億9081万6千円を追加。また、平成30年度一般会計補正予算(第2号) 3億1898万3千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ234億7529万6千円とするものです。

主な補正予算	補正予算額
移住定住PR動画作成用 ビデオカメラとパソコン	498,000円
畜産・酪農収益力強化整備等 特別対策事業費補助金	262,132,000円
大太鼓の館の看板設置委託 (ハローキティキャラクターを活用)	1,080,000円
道路維持費 (豪雪被害による市道補修等)	40,360,000円

平成30年北秋田市議会6月定例会は、6月12日（火）から6月22日（金）までの11日間の会期で行われました。6月定例会では、承認1件、条例案5件、予算案10件、その他議案等2件、陳情3件の21件が提案され、原案のとおり承認、可決、採択されました。

なお、最終日に提案された人事案件等6件、伊勢堂岱遺跡を含む北海道・北東北縄文遺跡群をユネスコへの推薦候補に決定することを要望する「北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた推薦を求める意見書の提出について」の議員発議案は、それぞれ同意、可決されました。

2019年度に民営化 ケアタウンたかのす 米内沢保育園

市が方針示す

第2回議会全員協議会が6月22日に開かれ、在宅複合型施設「ケアタウンたかのす」と「米内沢保育園」の民営化について、協議しました。

育園を民営化しています。移管後の運営主体については「社会福祉法人以外による保育所の運営では、施設整備等に関する国等の補助に制限があることや、認可保育所の運営実績や移管後の保育の継続性などから、移管後の運営主体は基本的に社会福祉法人が適切だと考えている」と説明がありました。

在宅複合型施設「ケアタウンたかのす」の民営化については「民営化に移行することで、運営事業者は長期的な視点で、より効率的な運営につながり、入所者が同一事業者による継続的なサービスを受け、安心して安定した入所生活を過ごせるよう、指定期間のある指定管理者制度から指定管理のない民営化を図るもの」と説明がありました。

また、米内沢保育園の民営化については、北秋田市保育園等の在り方検討委員会から提出された「北秋田市保育園等の在り方に関する提言書を基に、庁内のプロジェクトチームが提言書の具体化を検討してきたもので、15年度に鷹巣中央保育園、16年度に鷹巣東保



市は民営化について説明

人事案件

6月定例会に人事案同意案件が追加提案され、次のとおり同意することに決定しました。

北秋田市監査委員の 選任について

◎監査委員の選任（議会選出）
関口 正則 氏（新任）

七日市財産区 管理委員の選任について

◎七日市財産区管理委員
佐藤 勝哉 氏（新任）

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の陳情	秋田県教職員組合 執行委員長 櫻田 憂子 秋田県教職員組合 大館北秋支部 支部長 永瀬 知己	採 択	提 出
地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての陳情	連合秋田大館地域協議会 議長 山内 一 滋 自治労大館北秋田総支部 支部長 佐藤 修	採 択	提 出
地方消費者行政に対する財政支援(交付金等) の継続・拡充を求める陳情書	秋田弁護士会 会長 赤坂 薫	採 択	提 出

で議案を審査

6月定例会

総務文教常任委員会

災害復旧に大型補正予算

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案2件、予算案1件、陳情3件の計7件。

専決処分の承認については、災害復旧に迅速に充てるためとしたものであり、全会一致で可決すべきといたしました。

たばこ税が値上げ

市税条例の改正に関する議案については「加熱式たばこ税率の段階的な引き上げとは」との質疑があり「年4%ぐらいずつ5年かけて上がっていく」との答弁がありました。

放課後児童クラブに関する議案については「支援員の研修の強化が必要だと思うが」との質疑があり「県の動向を見ながら検討していきたい」との答弁がありました。

平成30年度一般会計補正予算については、電子入札のシステム利用に関する質疑があ

り「電子入札の対象は建設工事と測量および建設コンサルタント業務となり、物品の調達とは対象外となる」との答弁がありました。

以上の審査を踏まえ、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

陳情3件については、全会一致で採択すべきと決し、意見書を提出することといたしました。

(委員長 大森 光信)



復旧が急がれる田畑

市民福祉常任委員会

緊急車両を先行整備

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案6件、単行議案1件の計10件。

平成30年度一般会計補正予算では、防犯街灯設置補助金に關して、市民や自治体からの要望への対応状況と今後の補助に対する考え方について質疑があり「今回の補正では要求はクリアしている。一回の申請額を30万円としている」との答弁がありました。

消防費の修繕料に対する修繕までの経緯や緊急車両の修繕対応のあり方について質疑があり「2月の車検整備の際、車両内部での腐食の全容が判明したが、当初予算に間に合わず、緊急車両という性質であることから目節内の予算で先行して修理対応をしたもの」との答弁がありました。

付帯意見は賛成少数

北秋田市高齢者福祉事業運営委員会の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

については「名称の部分を改めるということだが、法に則つての手順が不十分であり付帯意見が必要」との意見があり、また「要綱での対応となつた理由も受けており、本委員会でも十分認識を示していることから必要がない」とする意見がありました。

以上の審査を踏まえ、付託された案件はすべて全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

(委員長 佐藤 文信)



整備で安全・安心が確保される



3つの常任委員会

産業建設常任委員会

5月大雨被害対策

当委員会に付託された案件は、承認1件、予算案5件、単行議案1件の計7件。

大雨被害に対する専決処分
の承認について、農林課関係では「専決から1カ月弱経っているが、復旧の進捗状況は」との質疑があり「流末の排水路の復旧ということで現在も続けており、補助の方は県と調整を取っている」との答弁がありました。また「今の時点では稲作は無理と思うが、作目の転換を行政として農家に指導しているか」との質疑があり「農家の方々と現場を見ながら進めており、後々大豆を入れたり、耕作を行ってはどうかなどの打ち合わせをしている」との答弁がありました。

ハローキティ看板設置

平成30年度北秋田市一般会計補正予算の商工観光課関係では、看板設置委託に関して「ハローキティを使って事業

をやるということで議会に提案してきたが、今回、大太鼓だけが、6月議会となった理由は」との質疑があり「4月15日にハローキティの就任式が行われた際に、サンリオから大太鼓の館と安の滝をモチーフにしたものが示されたため、現在、大太鼓にある看板をハローキティの看板に替えるもの」との答弁がありました。

付託された議案については、全て原案のとおり承認、可決すべきと決しました。

(委員長 堀部 壽)



大雨による河川の氾濫

第3回臨時会

防災ラジオ受信機など
財産取得の議案8件

可決

第3回臨時会が5月21日に開かれ、防災ラジオの購入、老朽化などに伴う除雪機械や消防車の更新に伴う財産の取得についての議案8件が上程され、審議されました。
このうち、議案第92号について、自治会を通じて各世帯へ申請を募ったもので、今後も普及率向上に向けて市民の皆さんに周知したいと説明がありました。

番 号	件 名	契約金額
議案第86号	ロータリ除雪車2.6m幅	45,792,000円
議案第87号	ロータリ除雪車1.3m幅	22,464,000円
議案第88号	除雪ドーザ14t級 (その1)	19,764,000円
議案第89号	除雪ドーザ14t級 (その2)	19,764,000円
議案第90号	災害対応特殊水槽付 消防ポンプ自動車 (その1)	60,480,000円
議案第91号	災害対応特殊水槽付 消防ポンプ自動車 (その2)	62,748,000円
議案第92号	280MHz 防災ラジオ受信機	158,209,200円
議案第93号	スキー場ゲレンデ整備用圧雪車	36,720,000円

※ 市が取得する財産については、予定価格の2000万円以上の動産の買い入れについて、議会の議決に付さなければならないことが条例で決められています。

一般質問

一般質問は、6月14日・15日に行われ、10名の議員が登壇しました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。



③ 武田 浩人 議員

- 1 元町跨線橋の工事
- 2 行政評価制度
- 3 ハローキティ北秋田市
ふるさと大使

[P.7]

⑦ 虻川 敬 議員

- 1 若者定住
- 2 観光拠点の在り方
- 3 市有林の活用

[P 9]

⑩ 山田 博康 議員

- 1 首都圏ふるさと会への対応
- 2 災害復旧
- 3 林業振興への対応

[P 11]

議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告や説明を求めるもので、定例会ごとに行なわれます。

Q 小阿仁川流域の豪雨災害対策を。



豪雨の水田被害の状況

ら連携し、災害時の危機管理体制を強化すべきでは。

A 現在のマニュアルがより一層実用性の高いものとなるよう随時見直しを行い、防災ラジオを有効に活用しながら各団体と情報共有していく。

Q 2020年より小学校で必修化となるプログラミング教育について。

A 関心は高まっておりますが、具体的な実施については、国や県の動向を踏まえて対応していく。

ら連携し、災害時の危機管理体制を強化すべきでは。

豪雨災害の対策強化を
佐藤 光子（）

佐藤 光子（みらい）



大幅に人口を増やす具体策を

福岡 由巳（無会派）



Q 市長は「人口減少時代への挑戦」を政策に掲げているが、これまでの到達度と課題は何か。

A 移住・定住は堅調に伸びている。今後もよりきめ細かな対応に努め増やしていきたい。

Q 2025年に本市は人口ビジョンより332人増やして目標人口を2万7018人としているが、現在の3万2000人でも減少による問題が起こっている。そして、現在よりもさらに5000人減ることになり、より支障をきたすと考えられるが、25年度以降をどのようにに展望しているか。

A 安心・安全な子育て支援や教育の充実、産業の活性化を政策の柱として移住・定住につないでいくことが重要と考える。

Q 25年の人口が2万7000人では、市として維持できるかという恐れも考えられる。思い切った大幅な人口増対策を講じるべきでないか。

A より多くの若者に当市を定住先として選んでいただけるよう進めていきたい。

Q 例えば、2010年の農業人口は5年前より472人減少し、

1771人、しかもそのうち65歳以上が992人と半数以上であり25年には激減が予想される。もう1点、今回の豪雨災害による杉山田、雪田の水田被害では耕作者6人のほとんどが75歳前後、耕作者ゼロの集落もあった。耕作者が減少し、農業人口が深刻な事態になる。私はこれまで仕事づくりや雇用増など何点か提案しているが、市の雇用や産業振興策全体を考え、また政府が進める外国からの移住政策も含めて大幅な人口増対策が必要ではないか。

A 子育てに特化しているだけではなく、産業振興による雇用の確保と雇用づくりを大きな目標として、人口減少の推計よりも少しは市として増やしていきたい。



未だ公表しない27年度版

ハローキティの著作権使用期間は

武田 浩人（緑風・公明）



Q 新橋の架け替えが予定されている元町跨線橋の工事のスケジュールを教えてください。

A また、跨線橋屋根の除雪対策に既存の融雪用電源を活用下さい。

Q 撤去は平成31年度を予定しており、今年度は線路内の電力設備の改修工事と、新橋の詳細設計業務委託を予定しているところですが、新橋完成までのスケジュールは現在も協議中ですが、平成33年度の完成を目指しておりまして、撤去を含めると、3年間は橋が利用できなくなります。

A また、ご提案の既存電源の活用については今後の詳細設計業務で参考にながら、極力除雪作業が省ける構造を検討していきます。

Q 今後の行政評価での、改善点や課題等について伺います。

A 改善点や課題としては、開催時期に余裕を持った日程調整をとの意見や、評価後の事業の対応方針を示してほしいといった意見がありますので、開催時期は月1回を目安に行うよう変更致します。

Q また、翌年度には結果に対する方針案を示したいと思えます。

Q ハローキティが民間事業者で

も使用できるように、一年契約の著作権使用期間を延長できないか伺います。

A ハローキティの著作権は、市が実施する事業に限定されます。そのため民間事業者は、サンリオとの個別契約が必要となります。

しかし、特産品や観光施設等の一覧を市がパンフレットやポスターとして作成する場合などは、個々のお店でも使うことができますので、様々な活用方法を検討して参ります。

なお、ハローキティを自社製品に活用すると、小売価格に対して5%から7%のロイヤリティが発生します。



架け替え予定の元町跨線橋

交通弱者への対策早急に取り組んで

久留嶋 範子（共産党議員団）



Q 市内循環バス本格運行に向けて利用しやすい工夫と、市民目線での運行を。要望のある市民病院までの運行を取り入れてほしい。

A 今年度は、これまでの意見を踏まえながら、秋から冬にかけて実証運行する。市民病院までについては、現行路線との調整や市街地循環バスという位置づけから、実施は難しい。

Q 自動車運転免許返納者への支援策について、具体策が必要ではないか。

A 地域公共交通活性化協議会で取り上げており、交通事業者と協議をしながら、早めに施策を固めていきたい。

Q 交通弱者対策として、買い物や通院に便利な福祉タクシー券を発行できないか。

A 公共交通機関の利用が困難な人や高齢者、障害者には移動手段の提供やタクシー運賃の一部補助など支援を行っている。制度が重複しないよう、必要な事業実施に向け検討する。

Q 子どもたちの登下校時の安全面について、新潟での幼児殺害事件など、悲惨な出来事がおきてい

る。通学路の安全対策は万全か。

A 通学路交通安全推進会議で要望の実態を把握し、対策を検討している。昨年度に出た要望は10件で、改善6件、検討中3件、改善困難1件でした。本市でも、児童に声を掛けたら不審者と間違われたという事例が数年前にあったが、今年度不審者情報はありません。

Q 今年も熊の目撃情報が連日のように報道されているが対応策は。 **A** 今年度も引き続き安全対策が必要と考えている。熊出没対応マニュアルのひな形を示し、各校の実態に合わせて修正し、活用しており、状況に応じた対策をとっている。



昨年運行の循環バスルート

浜辺の歌音楽館をもっと活用を

板垣 淳（共産党議員団）



Q はじめに高齢者福祉充実について質問。住みなれた地域で人生の最後まで暮らし続けるには、医療・介護・行政の支援が必要。それを担う地域包括支援センターを1カ所から3カ所に増やすのは歓迎するが、市直営から民間委託にするのはなぜか。

A 委託による職員配置で、地域に根ざした支援体制ができる。

Q 集落や自治会ごとに高齢者の居場所づくりを。

A 進める。

Q 阿仁東裏の高齢者援助ホーム（旧母子寮）を再開すべき。

A 活用するには大規模改修が必要。検討したい。

Q 今年は浜辺の歌音楽館30周年、浜辺の歌発表100周年。この機会に音楽館の存在を市内外にPRし、入館者を増やし、地域の活性化にも寄与する施策を講じるよう求める。

A 記念事業を行い、今後多くの人に利用してもらいたい。

Q あつと驚くイベントの開催、阿仁と大太鼓に来る大型観光バスの来館、音楽館自信の魅力アップ

等を力を。気軽に入れるよう入館料540円は無料に。米内沢駅でのPRコーナーと案内看板の整備など地域を挙げた取り組みも必要。このような郷土の先人と歴史に根ざした芸術・文化を発展させることこそ「夢と希望」。力を入れるべきは、地域と縁もゆかりもないキティよりこっち。

A もっと市民が使いやすい、集える館にできないかと私も心につかかっていた。今の提言も参考に、為三先生がお墓の中にも喜んでくれるよう努力する。入館料無料についても考えたい。



開館30周年を迎える音楽館

集落営農組織を法人化へ加速せよ

杉渕 一弘（新創会）



Q 法人化促進について。

A 現在、北秋田市管内には34団体の集落営農組織があり、地元の農地を地元で守り、将来へと引き継いでいくという意味からも人材確保は重要な課題だと考えており、通年雇用による社会保障や福利厚生が確保されている法人化は、有益であると考えています。

Q また、法人の設立には様々なケースがあり、当市による組織への支援は必要なものと認識していますが、いずれも農業者の合意形成や中心となる農業者のリーダーシップがもつとも重要だと考えます。

A 行政の継続的な支援については、法人設立までの支援としては、登記代やパソコンのリース、法人化までの合意形成に係る経費を助成する「農業経営法人化支援総合対策事業」などの事業のほか、法人設立後についても、営農に必要な設備への支援策や直売所・加工所設置への支援といった制度が、国や県で用意されています。その事業対象とならない部分については、市で支援を検討してまいります。

Q 担い手を育成する専門の「担

い手課」を設置してはどうか。

A 担い手育成は産業部の中で、しっかりと取り組みたい。専門の担当職員を置くのは検討課題といえます。

Q 土床式体育館整備の検討について。

A 土床式体育館の有用性は認識しているものの、市が整備することとは財政的に困難です。北秋の杜公園内の県有施設として県が整備すべきものと考えます。また、県からは冬季における体育施設の利用状況について調査協力をお願いしたいとの相談がありました。



法人化が急務（田植え風景）

若者が暮らしやすい環境づくりへ

虹川 敬（新創会）



Q 新社会人を迎える若者に定住支援金等の支給を考えてはどうか。

A 若者には外の広い世界を学んでほしいという思いもあるため、一度外に出てキャリアを積んで戻ってきた際に、何かしらの支援策も併せて検討していきたい。

Q 市所有の空き地を新婚世帯へ無償で土地提供を検討してはどうか。

A 空き地や空き家など空きスペース活用は当市の課題でもあるので、これからの課題と合わせ今後検討していきたい。

Q 出生率低下が人口減少の一因。その要因である未婚率低下のため婚活支援に力を入れてはどうか。

A 婚活支援は移住・定住施策とともに大きな取り組みの柱に掲げ取り組んでいく考えです。

Q 当市に大人数宿泊可能なホテルを市内企業に建設運営の働きかけをしてはどうか。

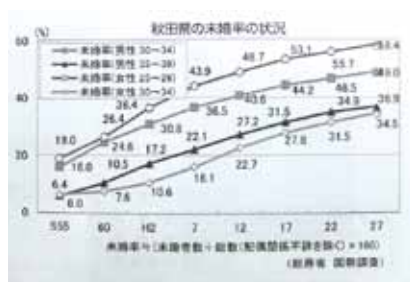
A 当市では「宿泊施設パワーアップ事業」により、客室の増加や衛生設備の改修支援をしている。また「おもてなし宿泊支援事業」により宿泊者の増加に努めており、まずは既存施設の充実と強化を図りたい。

Q 空港ダイヤ、料金とも利用しやすい環境を強く働きかけてはどうか。

A ダイヤについては利便性向上という観点から現在の時間に落ち着いている。割引サービスは搭乗率を向上させなければ実施には至らない。大館能代空港利用促進協議会にて利用促進に力を入れながら継続して要望する。

Q 当市の森林資源を利用してバイオマス発電、原材料のチップ工場等の循環型エネルギー構想に取り組んではどうか。

A 森林成長産業化地域創出モデル事業の推進を一層図りながら、バイオマス産業都市への取り組みと合わせて検討していきたい。



秋田県未婚率推移グラフ

再造林の割合は

松橋 隆（みらい）



Q 再造林の割合は。

A 29年度の実績で皆伐面積175・17ヘクタールのうち15・33ヘクタールの再造林率は8・75%である。

Q 皆伐にあたって大型機械が山に入るため露出した山肌が見え、作業道が大雨等で沢になり土砂災害の発生も心配されるが指導は。

A 伐採後の整備等については法的規則や罰則はない。伐採業者の自主管理に任せている。

Q 森林環境譲与税でどんな事業をどのような形でもってやるのか。

A まだ具体的内容が示されていない。31年度に事業計画を策定する。

Q 担い手の育成は。

A この税は市町村が独自で行う人材の確保育成にも充当することが可能となっている。現行の国等の支援制度を踏まえた市独自の補助制度も検討してまいりたい。

Q この税は当市にどのくらいの歳入を想定しているのか。

A 31年度の時点で市町村が80%、都道府県が20%、45年度以降は市が90%、県が10%になる。

Q 移住定住対策が始動してから

の成果は。

A 27年度が8世帯9人、28年度が10世帯13人、29年度36世帯43人。

Q このことを進める中でのネックは何か。

A 住まいと仕事探しが課題である。

Q 空き家バンクへの申し込み状況は。

A 5月末時点で延べ15件の物件登録で、そのうち10件成立。利用希望者の登録数は現在7名となっている。

Q 大阿仁公民館長2カ月の空白はなぜか。

A 市非常勤公民館長推薦基準で人選を進めてきた。人選に時間を要し、後任館長を委嘱するまで空席となった。約2カ月間、公民館活動が停止してしまったことを市民に深くお詫びする。今後は空白時期のないように努める。



伐採された秋田杉

水害被災地域へ中長期的支援策を

三浦 倫美（共産党議員団）



Q 5月18日、19日大雨災害で合

川地区は阿仁川沿い増沢、小阿仁川沿いの杉山田、雪田、鎌沢、三木田の水田等が冠水。短時間の大雨量、水流水圧の強さが被害を大きくし、田圃の稲作に適した土が大量に押し流され、土砂、流木、ごみ等が流れ込み、用排水路の埋没、ポンプの水没、田植え直後の苗の流出、田植え直前の田圃も田植えに適した苗の状態があと数日とせまる中、今まで経験したことのない深刻な被害を受けました。特に小阿仁川沿いの杉山田、雪田の水田被害は大きく、河川整備の根本原因が解決されないまま、これまで度も重なる水害にも踏ん張ってきた地域です。水田が地域共同体、地域経済の土台となつて集落を成り立たせてきました。

この度の集落存亡にも係わる危機に対し、緊急支援と今後数年間にわたる中長期的、総合的支援が必要で、小阿仁川単河川改良工事は、平成33年度鎌沢まで、それ以降の計画は無く、県への強い要望が必要です。国の河川改修事業交付金は採択基準が大変厳しく、採択要件の緩和を求め、私も

国へ要望しに行く予定です。

A 市は緊急に用排水路確保の復旧作業に取り掛かり、用排水路以外は、国の農地、農業用施設災害復旧事業の説明会を実施。また現場に応じて様々な復旧方法や作付け等への相談、応援も検討します。生活再建支援は、税の減免等に対応し、今後の生活への影響については検討課題です。河川整備については、当市と上小阿仁村による小阿仁川水系対策委員会においても継続して、この要望を国、県に行なつてまいります。



小阿仁川の氾濫で水田冠水

ふるさと会の活性に行政支援を

山田 博康（無党派）



Q 行政の支援で設立された旧町のふるさと会も設立後30年余りが経過、会員の高齢化という実態の中で役員の皆様が大変頑張っておられるようですが、ふるさと納税、移住促進等ふるさと会の支援、協力をお願いする機会が今後増々多くなると思われ、ふるさと会の活性のために地元からの支援が必要と思うがその対応について。また、行政主導で各ふるさと会との合同役員会の開催も必要と思うがそれ等への対応について。

A 若い世代への勧誘は難しいですが、60代以降の定年を迎えられる世代をターゲットに還暦を記念した同級会等の機会を活用させていただき、ふるさと会のPRをしたり、広報等を通してふるさと会の総会等の様子や活動内容を取り上げ、地元から首都圏在住者に情報発信していただき、新入会員の掘り起しに協力させていただきま

Q 当地の主要産業であった農林業は地域経済の中で、その地位は

低下傾向にあり、とりわけ林業に関しては、特定の人を除くと全く無関心の状態です。先祖が子孫のためにと随分と苦勞して育林した森林が伐期を迎えています。経済材としての価値が低下の一途をたどり、林家の山林への関心が薄れ放置されているのが現状であります。地域経済を活性化させるにも、地域資源である伐期を迎えている戦後植林された山林の活用に向け、関係団体との連携による行政支援が必要ではないか。

A 伐期を迎えた山林所有者へ利益還元出来るよう行政として連携し取り組みます。



手入れが行き届いた山林

所管事務調査報告

静岡県菊川市を視察研修

広報特別委員会所管事務調査

広報特別委員会は、所管事務調査先として「市民にわかりやすい議会、だよりを発行している市議会を研修したい」ということで、静岡県菊川市議会を選定し、5月24日に調査を実施しました。

議会だよりの

リニューアル実施

静岡県菊川市議会では、住民へのアンケート調査を実施し、議会の活動内容や情報発信を親しみやすく、信頼される議会運営に向け、そのあり方について「市民の皆様から広く意見を伺い、取り入れながら開かれた議会を目指していくことを結果として検証できた」とのこと。で「議会だよりについてのリニューアルを検討し、より手に取ってもらい、読んでもらえる議会だよりとし、議会の活動を市民にわかりやすく伝えることで、市民との距離を縮めようと字体やレイアウトについてもすっきりして読みやすいものにした」とのことでありました。

また、掲載している記事の中で興味を持って読んでいるもの、新たに切り上げてほしい記事などを聞き取りして、市民の意見を反映した議会だよりにしていきました。

市民へ開かれた議会を発信

議会のインターネット中継についても、経緯や費用などの説明を受けた後、議場や中継システムの設備を見せていただき、その素晴らしさに感動いたしました。

今回の調査では、大変貴重な意見や編集方法を聞くことができ、参考にしたが、今後の編集に活かしていきたいと考えています。



研修の様子

北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟

林産業活性化の 実現に向けて

平成30年5月21日、「北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟」総会が開催されました。

本会は、北秋田市の森林と林業・林産業の活性化の実現に向けて活動することとし、議員全員（20名）で構成されています。

【平成30年度の事業計画】

- ①森林の整備・林業・木材産業の振興及び地域の活性化に関する調査を行い、市はもとより、県連絡協議会を通して、国、県等関係機関に対して要望活動を行う。
- ②木材産業を取り巻く現状を把握し、活性化に向けた方策を探るための事業を行う。
- ③森林・林業・木材産業における住民の関心が高い施策や制度、最新の情報を把握し、理解を深める。

【本会の役員】

会長	黒澤 芳彦
副会長	佐藤 重光
事務局長	堀部 壽
幹事	大森 光信
	佐藤 文信
	小笠原 寿
監事	長崎 克彦
	板垣 淳

北秋田市議会「伊勢堂岱遺跡」世界遺産登録推進議員連盟

世界文化遺産への 早期登録を推進

平成30年5月21日、「北秋田市議会『伊勢堂岱遺跡』世界遺産登録推進議員連盟」の総会が開催されました。

本会は、「伊勢堂岱遺跡」の世界文化遺産への早期登録を推進することを目的とし、議員全員（20名）で構成されています。

総会では、世界文化遺産への早期登録推進するための調査研究や関係自治体・機関との連携などを盛り込んだ平成30年度事業計画案と予算案が承認されました。

【本会の役員】

会長	黒澤 芳彦
副会長	佐藤 重光
事務局長	佐藤 文信
幹事	大森 光信
	久留嶋 範子
	堀部 壽
	山田 博康
監事	福岡 由巳



秋田内陸縦貫鉄道 北秋田議員連盟

さらなる 利用促進に向けて

平成30年6月22日、「秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟」の定時総会が開催されました。

定時総会では、29年度の事業報告と決算報告、30年度の事業計画案と予算案が承認されました。

事業計画では「秋田内陸縦貫鉄道は阿仁合駅舎を全面改装をし、本市の地域観光拠点として大いに期待されている。また、民間による募金プロジェクトも1800万円を超え、列車を大幅改修された。これらにより、インバウンドの効果はもとより、さらなる誘客が期待されるところである。当会としても、同鉄道および沿線について理解を深め、同線活性化のため、定時総会の実施、同鉄道および沿線の研究を行う」としました。

【本会の役員】

会長	黒澤 芳彦
副会長	松橋 隆
事務局長	大森 光信
監事	佐藤 敬
	佐藤 光子



2名の議員を表彰 全国市議会議長表彰

第94回全国市議会議長会定期総会が5月30日、東京国際フォーラムで開催され、本市議会から2名が表彰されました。

表彰を受けたのは、正副議長4年以上在職者表彰として松尾秀一議員、議員15年以上在職者表彰として松橋隆議員の2名で、6月定例会本会議の冒頭に、表彰伝達式が行われ、黒澤芳彦議長から表彰状が贈呈されました。



表彰を受けた松橋隆 議員と松尾 秀一 議員

議席の一部変更について

総合政策課長 三沢 聡	市民課長 畠山 誠	福祉課長 石上 和彦	医療健康課長 石崎 賢一	議事局長 佐藤 誠	議 長	農林課長 福田 公人	上下水道課長 水木 正範	建設課長 西根 弘樹	教 委 総務課長 金澤 聡志
財政課長 金澤 誠	総務課長 小坂 竜也	市民生活部長 小松 正彦	健康福祉部長 齊藤 修	事務局 職 員	産業部長 九嶋 巧	産業部 政策監 佐藤 進	建設部長 浅村 武則	会計管理者 木村 元紀	
財務部長 河田 浩文	総務部長 石川 博志	副 市 長 虹川 広見	市 長 津谷 永光	演 壇	常任委員長 行政委員長 等	教 育 長 佐藤 昭洋	教育次長 小笠原 吉明	消 防 長 中嶋 誠	
6 佐藤 光子 (みらい)	5 杉 淵 一弘 (新創会)	4 虹川 敬 (新創会)	3 小笠原 寿 (緑風・公明)	2 三浦 倫美 (共産党議員団)	1 山田 博康 (無会派)	9 武田 浩人 (緑風・公明)	8 久留嶋範子 (共産党議員団)	7 福岡 由巳 (無会派)	
12 大森 光信 (みらい)	11 松尾 秀一 (新創会)	10 佐藤 文信 (新創会)	16 堀部 壽 (緑風・公明) ☆	15 関口 正則 (緑風・公明)	14 板垣 淳 (共産党議員団) ☆	13 長崎 克彦 (無会派)			
20 黒澤 芳彦 (みらい)	19 松橋 隆 (みらい) ☆	18 中嶋 洋子 (みらい)	17 佐藤 重光 (新創会) ☆						

発言席

議席番号
氏 名
所属会派
☆会派代表

※議席が一部変更となりました。変更となった議席は18番・19番・20番です。

市議会へのご意見をお寄せください

《市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆さんのご意見を募集しています》

- 対 象 市内在住者又は通勤通学している人
- 方 法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公 表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392 秋田県北秋田市花園町19番1号
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845



世界から見た「きたあきた」

私は阿仁地区に住んでいます。ここにやって来たのは2年前の話です。この2年間で本当に大好きになりました。地域の方々もいつも温かく声をかけてくれます。そして、季節が変わるとともに、それぞれのきれいな風景が楽しめます。ちなみに、私の好きな阿仁の風景は春です。

人が丁寧にデザインや絵を描いた石を阿仁合駅周辺で隠している「WAROCK(わろっく)」もまたすごいです。

一番いいと思う阿仁のところといえば、出身のプエルトリコでは味わえないすばらしい星空です！このような良いところがあるからこそ、阿仁がお気に入りの場所になりました。私を見かけたら、ぜひ声をかけてください。よろしくお願いします。



プエルトリコ浜辺



プエルトリコ地図



わろっくを見つけられるかな？



阿仁河川公園の桜並木

自己紹介



皆さんこんにちは！

私の名前は「エドガード・ホセ・サンチェス・メンデス」と言います。とても長い名前なので、どうぞ「エド」と呼んでください。

出身はカリブ海にあるプエルトリコという小さい島です。「パイレーツ・オブ・カリビアン」という映画で有名になりました！

アメリカの領土ですが、ほとんどの住民は英語ではなく、スペイン語で話します。カリブ海ということで、夏が一番印象に残る季節です。年中暖かくて・・・むしろ暑いのです！

A L T(外国語指導助手)として阿仁中、阿仁合小学校、大阿仁小学校で英語を教えています。

『表紙写真の募集について』

【募集内容】

北秋田市内で撮影した四季折々の行事や風景など「市議会だよりきたあきた」の表紙にふさわしい写真で、次のいずれにも当てはまるものを募集します。

- ①応募者本人が北秋田市内において、おおむね1年以内に撮影したもの。
- ②未発表のもの。
- ③2～4MBのデジタルデータ（JPG形式）で提供できるもの。

④人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの。

⑤個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けたもの。

【応募方法】

応募用紙と応募写真をEメールに添付して御応募ください。詳細については、市ホームページ内の北秋田市議会「市議会だより」に掲載しております。

応募先メールアドレス

【gikai@city.kitaakita.akita.jp】

【応募期間】

年間を通して随時応募を受け付けますが、季節・時期等を感じる作品については、発行日の1カ月前までをお願いします。

【発行日】

5月1日・8月1日
11月1日・2月1日



次の定例会と
各常任委員会は
「9月」です
市民の皆さまの傍聴
をお待ちしています

各常任委員会の会場
総務文教（森吉庁舎）
市民福祉（合川庁舎）
産業建設（阿仁庁舎）

広報特別委員会
委員長 杉 渕 一 弘
副委員長 三 浦 美 弘
委員 佐 藤 武 光 敬
佐 藤 光 人